

会報 かなづ

発行者：金津コミュニティ振興協議会
発行人／青木貞義 編集／総務部
URL：<https://www.kanazu.jp/>

事務局

住所 〒956-0847
新潟市秋葉区古津 597 番地
TEL 0250-25-1101
メール kanadukomikyo
@tune.ocn.ne.jp

金津地区人口

世帯数 3,050 戸 (3039 戸)
人口 6,795 人 (6887 人)
男 3,318 人 (3354 人)
女 3,477 人 (3533 人)
2024. 3 月末現在 (2023. 3 月)

女性部

6/5 研修会テーマ「身近な水」について、施設見学を行います



みずの学校

6/5 (水) 女性部今回の研修テーマ「身近な水」

について関連施設の見学を計画しました。また、県庁で警察庁舎の見学も行います。この研修会に大勢の皆さんの参加・申し込みをお願いします。

- 参加費：1,000 円 (弁当付き)
- 行程：金津コミセン 9 時 30 分発→信濃川浄水場 (見学 60 分) →県庁、警察庁舎 (見学、昼食 1 時間 40 分) →山の下閘門排水機場 (見学 60 分) →金津コミセン着 (15 時)
- ◆日時：6 月 5 日 (水) 9 時 30 分～15 時 30 分
- ◆締め切り：5 月 15 日 (水)迄
- ◆申込先：金津コミセン 0250-25-1101
- ◆申し込み多数の場合、抽選となります。抽選に外れた方にはご連絡します。

金津地区社協

3/21 「輪投げとビンゴゲーム」を行いました



3/21 (木) 金津コミセン中ホールにて、32 名が参加し、輪投げとビンゴゲームを行いました。輪投げは、得点板の棒にいくつかの輪を投げ入れることを競うゲームです、子供から高齢者まで気軽に、面白く楽しめるスポーツです。



金津地区社協

地域の茶の間「いっぷく」を開催します



今月は「芸達者上田兄弟のギターと腹話術」です。人形のタケちゃんをお供に、高齢者施設や道の駅な

どで地域を盛り上げています。2/15 の新潟日報などにも紹介されています。

カフェコーナーもありますのでお気軽にお越しください。

- ◆日時：5 月 16 日 (木) 10 時から
- ◆場所：金津コミセン中ホール
- ◆問い合わせ：金津コミセン電話 0250-25-1101

図書室

今月の「お話はじまるよ～」



今月は春の読書習慣にちなみ「おでかけ」をテーマにしたお話を中心に読みます。あたたかくなった春のひととき、金津コミセンで行われ

ている「おでかけ」お話を聞きに来ませんか！本はこころの栄養です。絵本や紙芝居などの色々なお話を、見て聞いて楽しむ読み聞かせに是非、おいで下さい。

- ◆日程：5 月 18 日 (土) 毎月第 3 土曜日
- ◆時間帯：午後 2 時～2 時 30 分
- ◆場所：金津コミセン和室 B
- ◆問合せ：新津図書館 金津よみきかせの会
電話：0250-22-0097

金津コミ協

金津コミセン内「カラーコピー」料金改定のお知らせ



4 月 1 日 (月) より金津コミセン内カラーコピー料金 30 円→20 円に値下げしました。ご利用の際は事務室にお声掛けください。

- ◆カラーコピー料金 (片面)：20 円となります。
- ◆白黒料金 (片面)：5 円 現状通りです。

金津コミ協

好評販売中！金津尋常小学校
「郷土趣味読本」販売中です



昭和8年(1932年)8月に発行された、この「郷土趣味読本」は郷土の教育の一助として発行されました。この本は当時の学校長吉川欽造氏のもと、*訓導 鈴木富雄氏が編集主任となり作成されました。

*訓導とは、当時の職員の職階です。

この本の中には、地域の昔話「お井戸の地蔵(西島)」「青木の墓(金津)」「弥三郎伝説(古津)」「本多文明親子(朝日)」「旦飯野神社(朝日)」「堀出神社(金津)」「お茶山」「妙蓮寺山門(東島)」「夕照の松(蒲ヶ沢)」「桜清水(中村)」「三境山」「溝江家の墓所(程島)」「金津の滝」「腕田附近(古津)」「中野翁銅像」などの沢山のお話が記載されています。

◆販売：金津コミセン

◆価格：1冊 600円(税込み)

●金津コミセンで継続販売中です。

電話番号：0250-25-1101

金津地区社協

地域の茶の間「いっぷく」
「プチ自慢」を行いました



4月18日(木)金津コミセン中ホールにて、地域の茶の間「いっぷく」は、「プチ自慢」を27名が参加し行いました。編み込みバッグ、手芸の飾り、家族からのお祝い感謝状、フラワーアレンジメント、出土品、手品など多くのプチ自慢がありました。

金津コミ協
総務部

国指定史跡「古津八幡山遺跡・古墳」(その2)遺跡の特徴について



●古津八幡山遺跡は、弥生時代後期の高地性環濠集落です。

環濠集落とは、周囲に濠をめぐらして、外敵などに備えた集落のことです。南北400m、東西150mの範囲から環濠・縦穴住居・土坑・墓(方形周溝墓・土器棺墓・前方後方形周溝墓)が見つかりました。

●環濠は、断続的に二重に配置され、深さは2m近い所もあります。方形周溝墓は、環濠の外側につくられており、主体部である棺跡からは鹿角装鉄剣(ろっかくそうてっけん)や石鏃(せきぞく)が出土しました。

●前方後方形周溝墓は、内側の環濠に囲まれた丘陵頂部に位置します。出土した遺物は、北陸系・東北系・両者折衷の在来系の3系統にわたり、日本海や阿賀野川を介して、北陸地方中西部・東北・会津地方とつながりがあったことがわかります。(新潟市役所ホームページより引用)

金津コミ協
総務部

国指定史跡「古津八幡山遺跡・古墳」(その3)古津八幡山遺跡の廃絶と古津八幡山古墳の出現について



古津八幡山遺跡の廃絶と古津八幡山古墳出現

●古津八幡山遺跡では、約1750年前の弥生時代終末期に高地性環濠集落が廃絶します。その約150年後、今からおよそ1600年前に古津八幡山古墳が築かれました。古墳は丘陵の先端部に築かれ、平野からの眺めを意識してつくられたと考えられます。(新潟市役所ホームページより引用)